

空知信用金庫・第137回地域企業景気動向調査

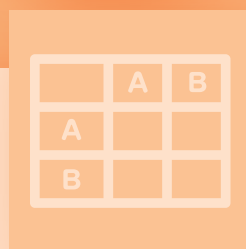
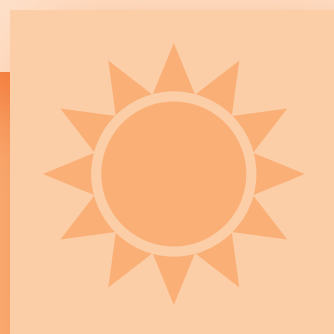
景況レポート

2020.10

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和2年7月～9月の景気の現状と令和2年10月～12月の見通しを調査したものです。

令和2年10月末日

空知信用金庫・地域支援室
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話(0126)22-1171



第137回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

若見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和2年7月～令和2年9月期（実績） 令和2年10月～令和2年12月期（予想）
令和2年8月25日～9月7日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したもので、
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

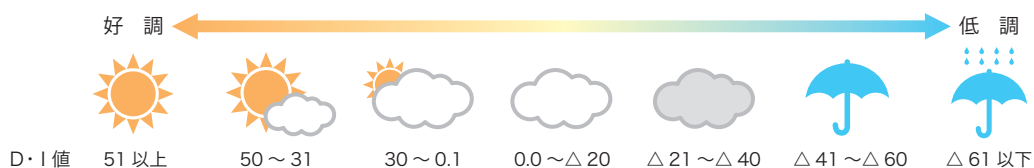
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	24	23	96
卸売業	14	14	100
小売業	57	55	96
サービス業	32	30	94
建設業	43	43	100
不動産業	7	7	100
運輸業	17	17	100
農業	28	27	96
計	222	216	97

6. 天気図の見方

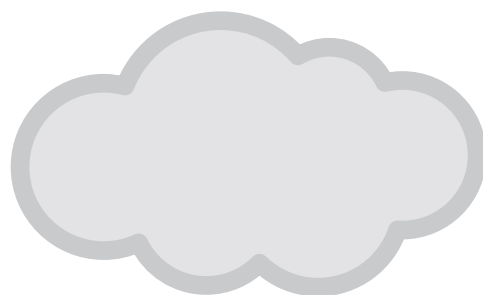
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「新型コロナウイルスの感染症拡大を受けた中小企業の対応について」

総 合



概 況

コロナ不況やや戻したものの長期化の様相

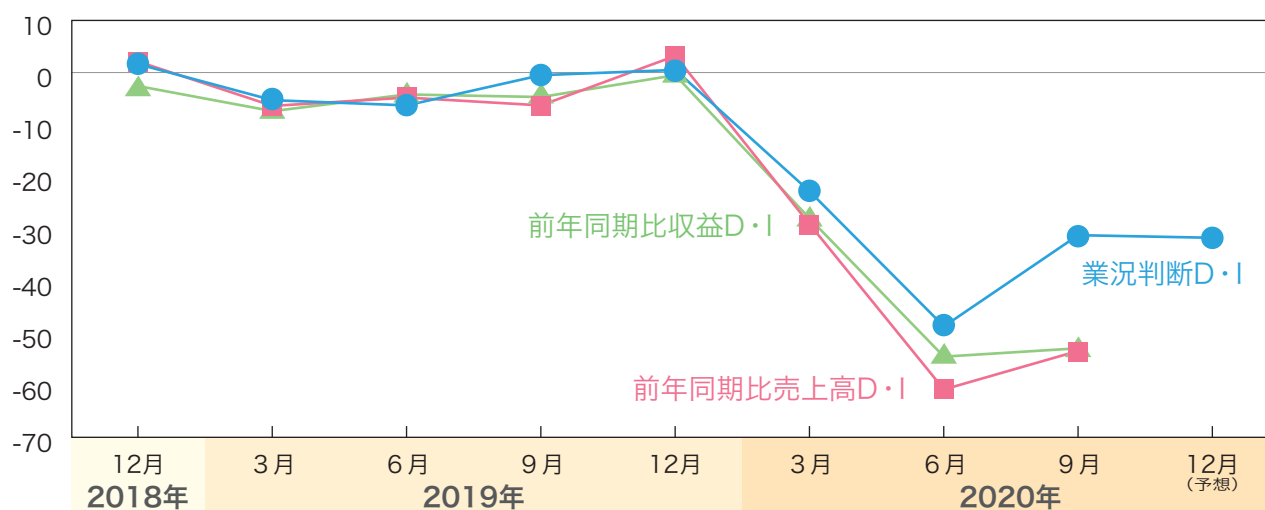
前期は調査開始以降、下から3番目の業況D・I $\Delta 48.7$ でしたが、今期は $\Delta 31.2$ となり、低調ながらもやや戻しております。運輸業だけが業況悪化としており、小売・サービス・建設・不動産業では回復の兆しが見えつつある結果となりました。

来期の見通しについて

建設・運輸業で改善の見通しながら、その他業種では現状維持又はやや悪化の見込みで、全体では今期比0.5ポイント落込みする見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	$\Delta 0.5$	$\Delta 48.7$	$\Delta 31.2$	$\Delta 31.7$
売上高D・I	$\Delta 6.3$	$\Delta 60.8$	$\Delta 53.4$	-
収益D・I	$\Delta 4.7$	$\Delta 54.5$	$\Delta 52.9$	-

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	4.5	$\Delta 4.3$	0.0	0.0
卸 売	7.2	0.0	14.3	7.1
小 売	7.1	$\Delta 14.6$	7.3	5.5
サービ	3.4	$\Delta 3.4$	0.0	$\Delta 3.3$
建 設	9.3	0.0	9.3	9.3
不 動 産	0.0	$\Delta 14.3$	-	-
運 輸	0.0	0.0	$\Delta 11.8$	$\Delta 11.8$
農 業	3.7	$\Delta 3.7$	11.1	3.7

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	27.3	17.4	4.3	$\Delta 4.3$
卸 売	21.4	0.0	21.4	7.1
小 売	16.0	$\Delta 3.6$	7.2	9.1
サービ	16.7	6.7	0.0	$\Delta 3.3$
建 設	32.6	11.6	14.0	16.3
不 動 産	0.0	-	-	-
運 輸	41.2	$\Delta 47.0$	$\Delta 23.6$	$\Delta 11.7$
農 業	11.1	3.7	11.1	18.5

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△18.2	△8.7	△4.4	△17.4
卸 売	△28.6	△14.3	△14.3	△14.3
小 売	△26.8	△20.0	△16.4	△18.2
サービス	△30.0	△13.3	△23.3	△23.3
建 設	△58.1	△27.9	△37.2	△34.9
不動産	△42.9	△14.3	△14.3	△14.3
運 輸	△58.8	△35.3	△47.0	△52.9
農 業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	9.1	△30.5	△8.7	8.7
卸 売	7.1	△7.1	△14.3	△14.3
小 売	△1.8	△12.7	△9.1	△5.5
サービス	3.3	△20.0	△3.3	0.0
建 設	11.7	△9.3	△7.0	△2.4
不動産	14.3	0.0	0.0	0.0
運 輸	5.9	△11.7	△11.7	0.0
農 業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

(%)

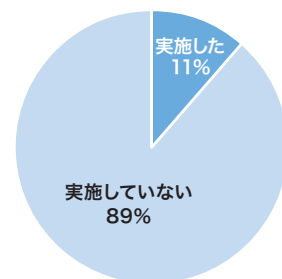
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難 しい	該 当 な し
製 造	43.5	8.7	21.7	47.8	13.0	17.5
卸 売	42.9	14.3	42.9	50.0	-	7.1
小 売	25.5	5.5	5.5	63.6	10.9	20.0
サービス	33.3	16.7	13.3	63.3	3.3	20.1
建 設	51.2	7.1	20.9	67.4	4.7	7.0
不動産	28.6	-	0.0	100.0	0.0	0.0
運 輸	58.8	23.5	17.6	76.5	5.9	-

○設備投資の動き

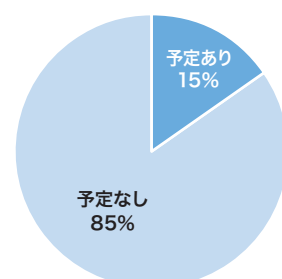
(%)

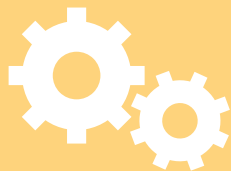
	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	27.3	21.7	17.4	26.1
卸 売	14.3	21.4	7.1	7.1
小 売	14.3	7.3	10.9	12.7
サービス	23.3	10.0	6.7	13.3
建 設	9.3	7.0	7.0	7.0
不動産	-	-	-	-
運 輸	41.2	35.3	29.4	41.2
農 業	11.1	7.4	3.7	7.4

2020年7月~9月期
設 備 投 資

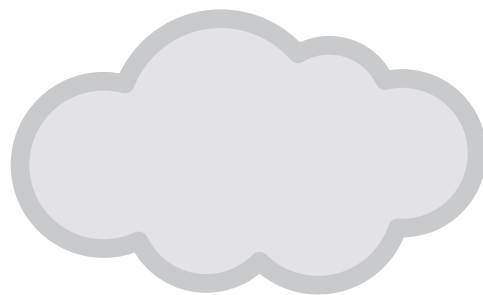


今後3ヶ月以内
設 備 投 資 計 画





製造業



概況

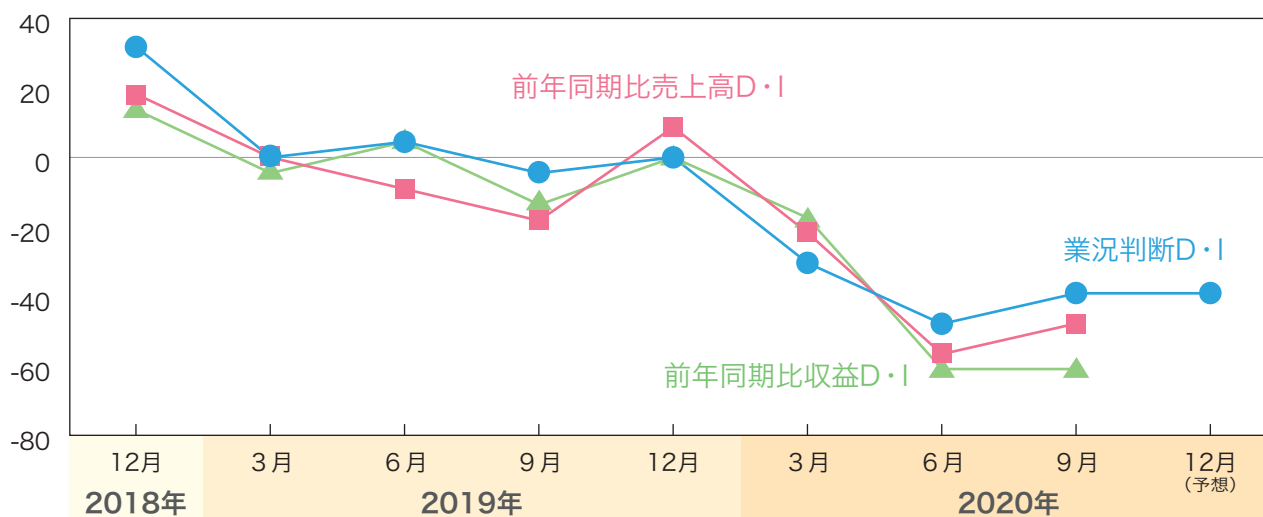
今期の業況判断指数（D・I値）は、△39.1と前期（4月～6月）からはわずかに好転したものの、低調な業況が続いています。他の主要指標も低水準であり、厳しい状況にあります。一方、建設資材の製造を手掛ける業種では、前期比売上高は増加となり、他の製造業とは明暗を分ける結果となりました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△4.5	△47.9	△39.1	△39.1
売上高D・I	△18.2	△56.6	△47.8	-
収益D・I	△13.6	△60.9	△60.9	-

来期の見通しについて

食品および建設資材製造業ではやや回復を見込み、他の製造業全般では厳しい見通しを想定しているものの、下落は一息つく見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナの影響により先行きは非常に厳しいが、プレミアム商品券での売上回復に期待している。（菓子製造）
- ・今期は、売上高は順調であったが、取引先の設備投資の見送り傾向から、先行きは不安。
- ・インバウンド需要の回復が見込めず、厳しい状況が常態化しつつある。
- ・イベント等の案内が少しずつ増えており、期待している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	原材料高	50.0%	売上の停滞・減少	52.2%
第2位	売上の停滞・減少	40.9%	原材料高	26.1%
第3位	工場・機械の狭小・老朽化 人手不足	22.7%	利幅の縮小	26.1%

(複数回答)

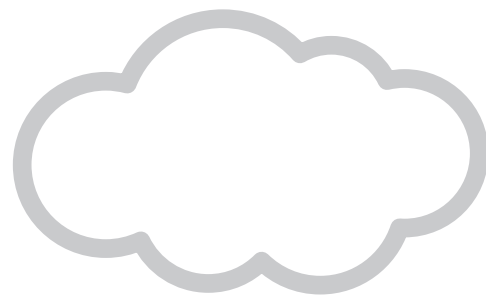
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する 販路を広げる	50.0%	販路を広げる	52.2%
第2位	人材を確保する	31.8%	経費を節減する	47.8%
第3位	情報力を強化する	18.2%	人材を確保する	30.4%

(複数回答)



卸売業



概況

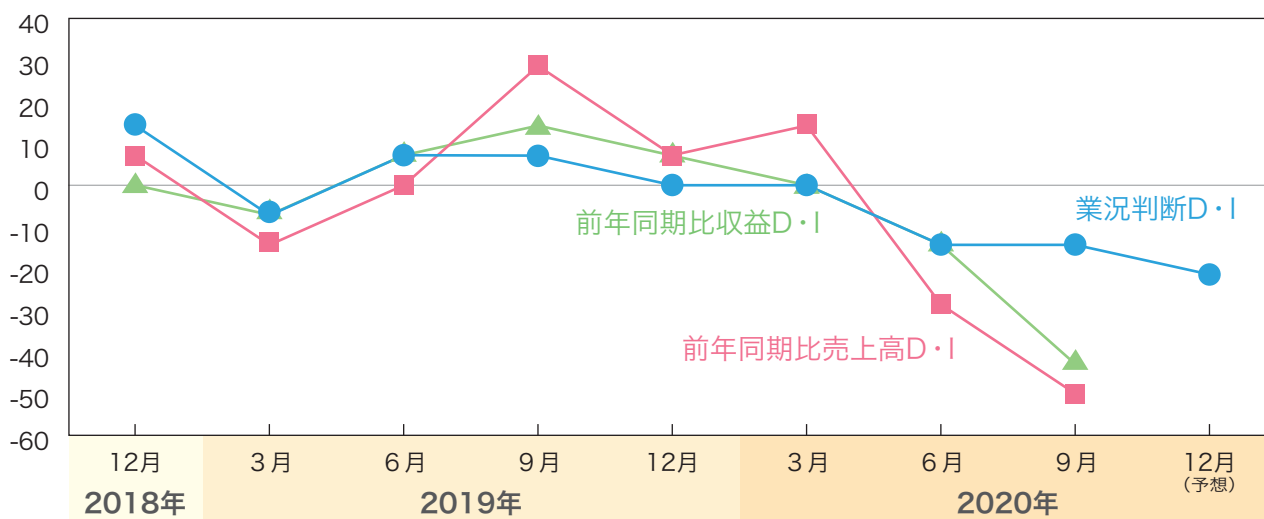
今期の業況判断指数（D・I値）は、△14.3と前期（4月～6月）と変わらず、冴えない業況となっています。前期と同様に他業種に比較して小幅な落込みとなっています。特に、外食産業の不振を受けて食料品関連の卸売業が下降超過に転じています。

来期の見通しについて

来期は、食料品関連や自動車部品の卸売業の一部で悪化する見通しとなっています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	7.1	△14.3	△14.3	△21.4
売上高D・I	28.6	△28.6	△50.0	-
収益D・I	14.3	△14.3	△42.9	-

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・現状新型コロナウイルスの影響はすでに無い。（建設資材卸）
- ・酪農関係が主要取引先で、直接的な影響は少ないが、支出を手控える風潮からやや影響が出つつある。
- ・取引先との打合せ・会議は非対面の割合が増えた。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 50.0%	同業者間の競争の激化 35.7%
第2位	人手不足 35.7%	売上の停滞・減少 35.7%
第3位	同業者間の競争の激化 28.6%	人手不足 販売納入先からの値下げ要請 地場産業の停滞 14.3%

(複数回答)

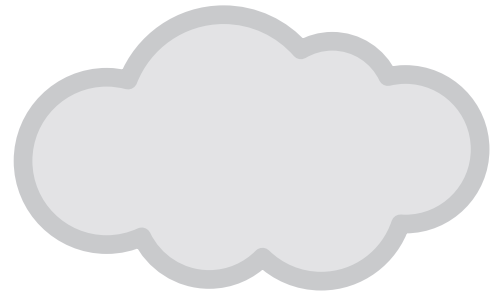
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 71.4%	販路を広げる 71.4%
第2位	経費を節減する 人材を確保する 42.9%	情報力を強化する 28.6%
第3位	情報力を強化する 21.4%	人材を確保する 21.4%

(複数回答)



小売業



概況

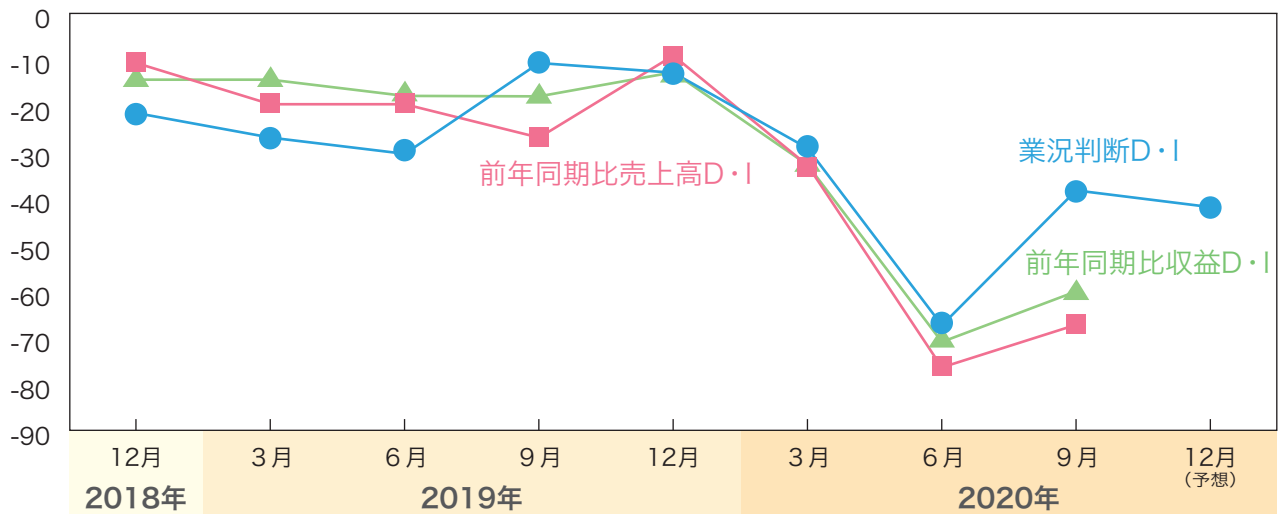
今期の業況判断指数（D・I値）は、△38.2と低調ながら、前期（4月～6月）からは最悪期を脱しています。木材・建築材料の小売業ではコロナの影響に関連なく堅調な調査企業が見受けられます。一方、自動車・家具・貴金属等の小売業では厳しさが増している状況です。

	前年同期	前期	今期	見通し
業況D・I	△10.7	△67.3	△38.2	△41.8
売上高D・I	△26.8	△76.4	△67.2	-
収益D・I	△17.9	△70.9	0.0	-

来期の見通しについて

来期は今期比3.6ポイント落ち込む見通しで、コロナ不況は今期と同程度の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・仕入先との仕入条件の見直しを積極的に交渉し、収益確保に努めている。
- ・学校再開に伴い、需要は回復傾向。
- ・高齢層の顧客が多く、不要不急の外出を控えているため売上に影響。
- ・3密防止策に伴い、経費増加。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今期
第1位	商圏人口の減少 64.3%	売上の停滞・減少 56.4%
第2位	売上の停滞・減少 44.6%	商圏人口の減少 52.7%
第3位	人手不足 25.0%	人手不足 25.5%

(複数回答)

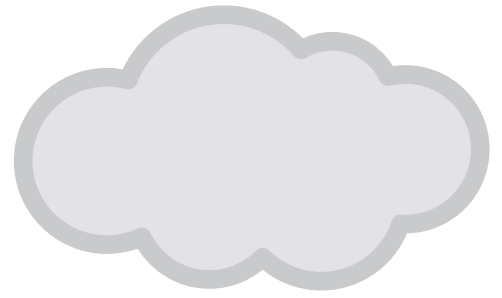
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今期
第1位	経費を節減する 60.7%	経費を節減する 56.4%
第2位	人材を確保する 28.6%	売れ筋商品を扱う 30.9%
第3位	品揃えを改善する 売れ筋商品を扱う 26.8%	人材を確保する 品揃えを改善する 27.3%

(複数回答)



サービス業



概況

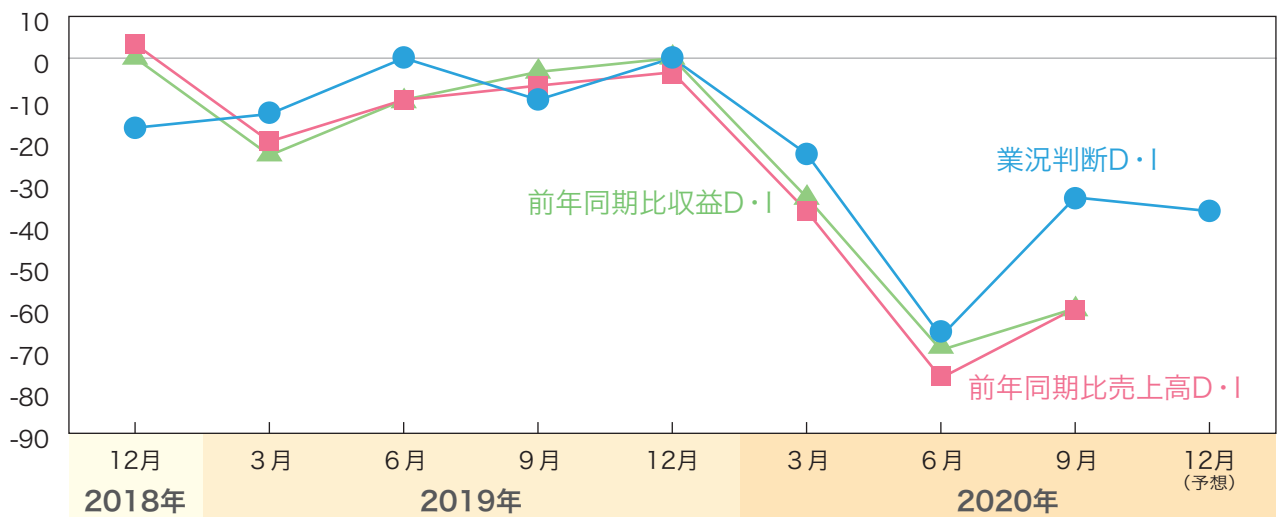
業況判断指数（D・I値）は、△33.4と低調ながら、前期（4月～6月）からは33.3ポイント改善して最悪期を脱しています。一方、旅館等宿泊業、娯楽業の調査先は全て悪化しています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△10.0	△66.7	△33.4	△36.7
売上高D・I	△6.6	△76.7	△60.0	-
収益D・I	△3.3	△70.0	△60.0	-

来期の見通しについて

来期は今期比3.3ポイント落ち込む見通しで、低調な業況は継続の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナの影響ももちろんであるが、同業者が増えていることも売上減少の要因の1つである。
- ・売上は若干減少した程度で今後も大きな変化はないが、長期的には先細りが心配。
- ・状況は相変わらずのまま、給付金などは非常に助かった。
- ・宴会は予約少なく、忘年会にも期待ができない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減少 売上の停滞・減少 40.0%	売上の停滞・減少 50.0%
第2位	人手不足 同業者間の競争の激化 36.7%	商圏人口の減少 46.7%
第3位	人件費の増加 13.3%	同業者間の競争の激化 33.3%

(複数回答)

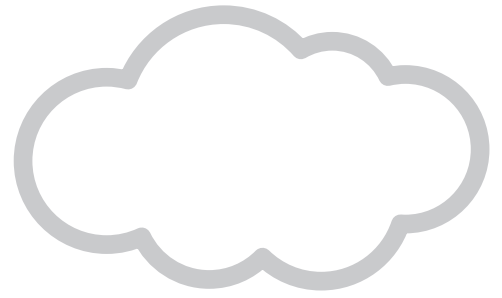
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 53.3%	経費を節減する 53.3%
第2位	販路を広げる 43.3%	販路を広げる 36.7%
第3位	人材を確保する 40.0%	技術力を強化する 33.3%

(複数回答)



建設業



概況

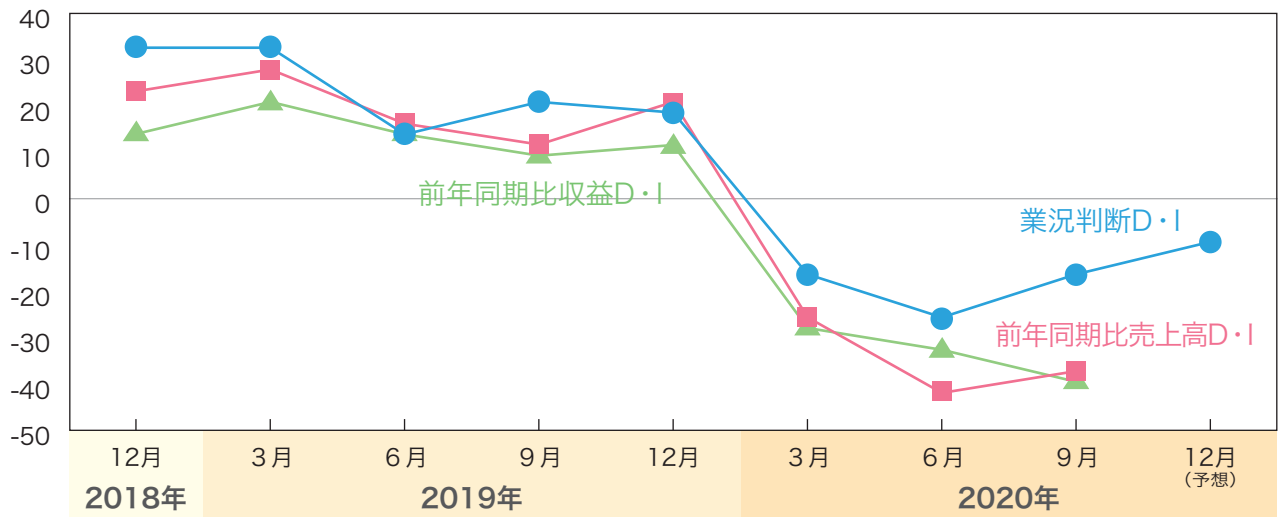
今期の業況判断指数（D・I値）は、△16.3と冴えない業況ながら、底を打った状況です。しかし、売上高・収益D・Iは低調な水準値にあり、影響が深刻・長期化しています。前期に続き、設備工事業では悪化している調査先はありませんが、建築板金業等で大幅に悪化しています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	20.9	△25.6	△16.3	△9.3
売上高D・I	11.7	△41.9	△37.2	-
収益D・I	9.3	△32.6	△39.5	-

来期の見通しについて

今期比7ポイント好転見通しにあり、公共工事主体に厳しい状況下でも比較的堅調な傾向にあります。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・公共工事主体のため、売り上げは例年並みだが、従業員の健康管理に気を付けていきたい。
- ・材料・資材の調達は元に戻った感があり、思ったよりも受注もあるが、先行きの不透明感は拭えない。
- ・コロナ対策の制度融資は、経審への影響があり導入しない。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 67.4%	人手不足 44.2%
第2位	材料価格の上昇 27.9%	売上の停滞・減少 30.2%
第3位	同業者間の競争の激化 25.6%	同業者間の競争の激化 25.6%

(複数回答)

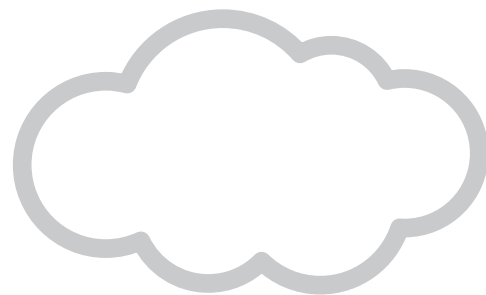
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人材を確保する 67.4%	人材を確保する 55.8%
第2位	技術力を強化する 37.2%	経費を節減する 37.2%
第3位	経費を節減する 34.9%	技術力を強化する 販路を広げる 27.9%

(複数回答)



不動産業



概況

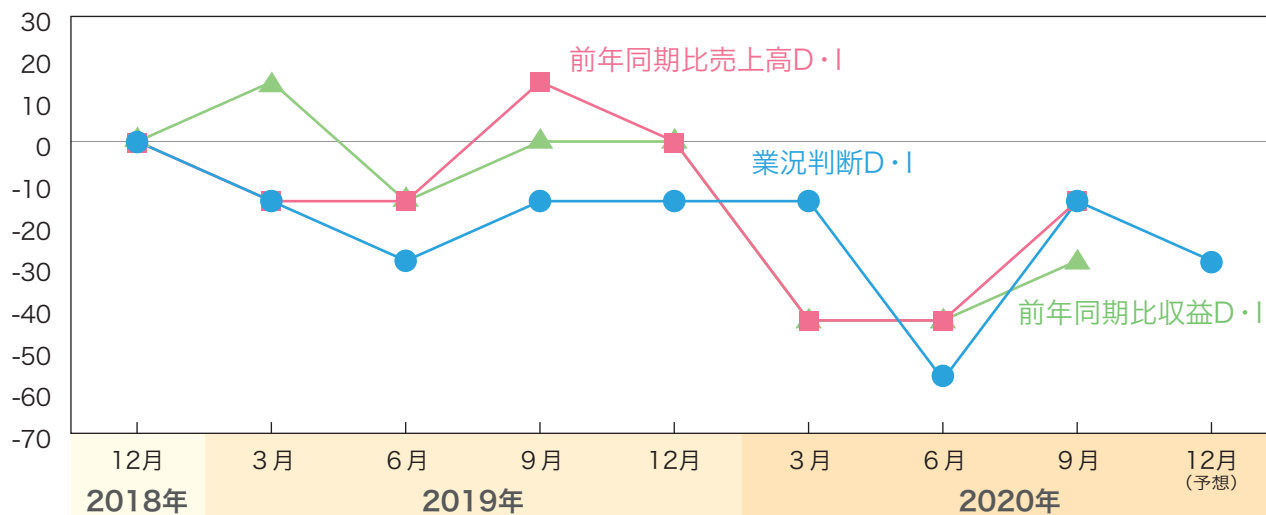
今期の業況判断指数（D・I値）は、△14.3と前期（4月～6月）からは42.8ポイント改善され、冴えない業況ながら回復の兆しが窺われます。前期に続いて貸事務所等を主とする事業者だけが、コロナの影響ないとしながらも、悪化しています。不動産代理業・仲介業や貸家業では引き続き「変わらない」とする事業者が大勢となっています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	△57.1	△14.3	△28.6
売上高D・I	14.3	△42.9	△14.3	-
収益D・I	0.0	△42.9	△28.6	-

来期の見通しについて

貸事務所等および不動産仲介業の一部で仲介・販売物件の減少により悪化の見通し。貸家業では「変わらない」としていますが、全体では比較的低調な業況となる見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナの影響により、人の出入りは少ないものの、毎期安定した賃料収入を計上している。
- ・仲介・販売物件が減少している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 57.1%	売上の停滞・減少 85.7%
第2位	商品物件の縮小 同業者間の競争の激化 42.9%	同業者間の競争の激化 42.9%
第3位	人手不足 28.6%	商品物件の縮小 利幅の縮小 28.6%

(複数回答)

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	情報力を強化する 宣伝・広告を強化する 42.9%	販路を広げる 71.4%
第2位	販路を広げる	経費を節減する 宣伝・広告を強化する 42.9%
第3位	経費を節減する 提携先を見つける 28.6%	情報力を強化する 不動産の有効活用を図る 28.6%

(複数回答)



運輸業



概況

今期の業況判断指数（D・I値）は、△52.9と前期（4月～6月）に比べ11.7ポイント悪化し、更に不振な業況となりました。

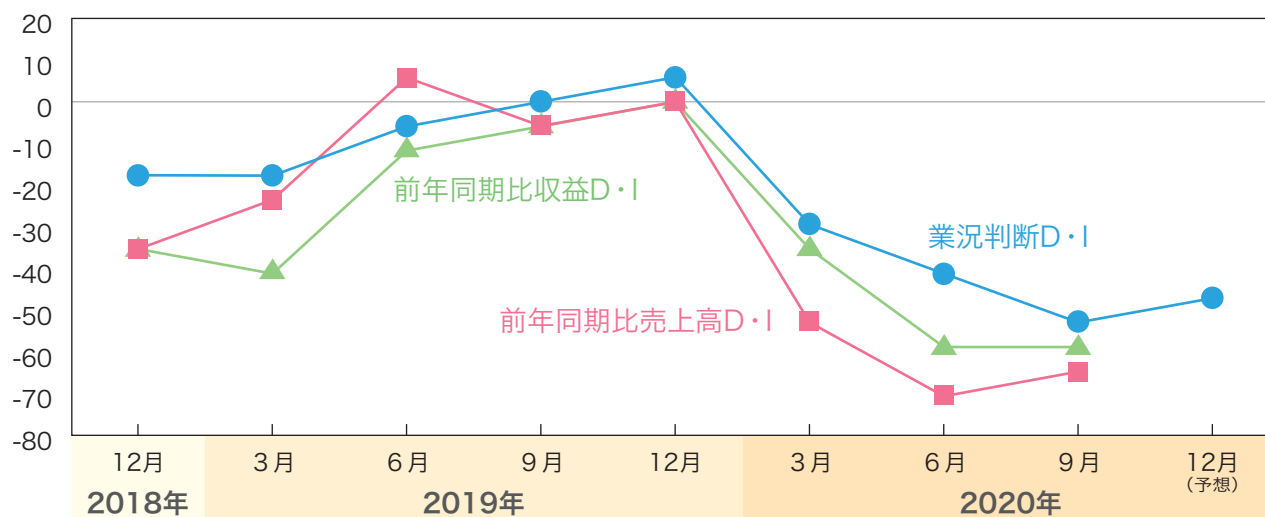
旅客輸送の需要減により旅客運送業は悪化が継続し、通運業は改善している先と悪化している先があり、事業者間にバラツキが見られます。

来期の見通しについて

通運業では改善すると見込む先が増加し、全体では今期比若干改善の見通しです。

	前年同期	前期	今期	見通し
業況D・I	0.0	△41.2	△52.9	△47.1
売上高D・I	△5.8	△70.6	△64.7	-
収益D・I	△5.9	△58.8	△58.8	-

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナ禍による外出自粛から、市内同業各社とも利用客が大幅減少。今後の動向に期待ができず憂慮している。
- ・家電の動きが鈍く昨年より売上減、人手不足も続いている。
- ・貸切バスのキャンセルが相次いでいたが、先の予約が少し入った。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今期	
第1位	燃料価格の上昇	82.4%	人手不足	58.8%
第2位	人手不足	64.7%	燃料価格の上昇	52.9%
第3位	同業者間の競争の激化	29.4%	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化	35.3%

(複数回答)

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今期	
第1位	経費を節減する	76.5%	経費を節減する	70.6%
第2位	労働条件を改善する	29.4%	販路を広げる	35.3%
第3位	販路を広げる	23.5%	労働条件を改善する	29.4%

(複数回答)



農業



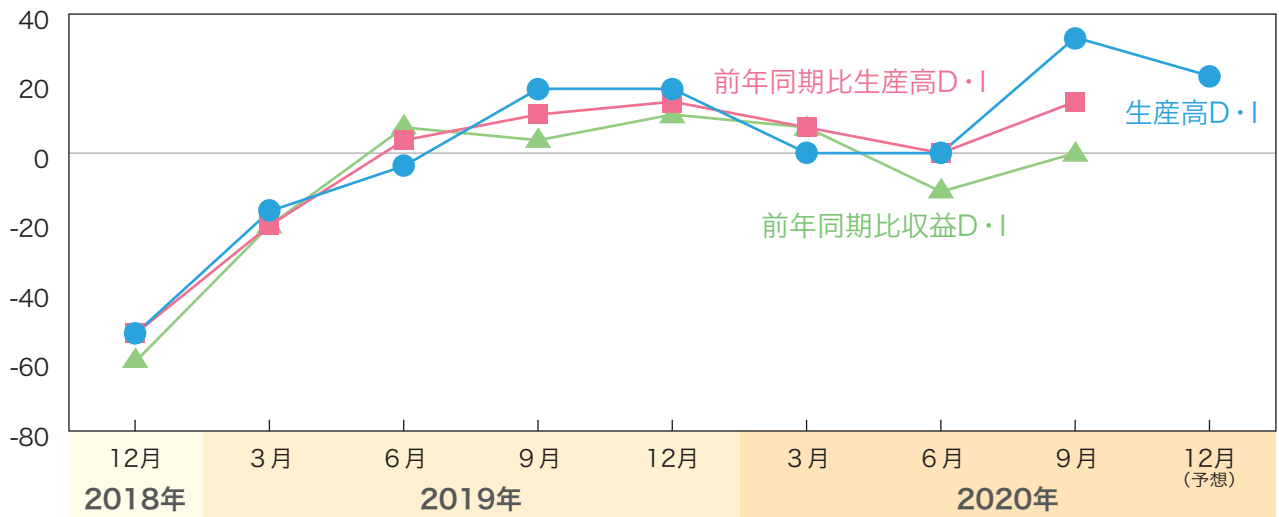
概況

生産高D・I値は、+33.3ポイント、前年同期比+14.8ポイントとなっています。6月に日照不足等があったものの、7月以降の高温・多照により、水稻は収量・品質共に平年を上回る見通しです。一方、コロナ禍による業務需要の大幅減により、需給緩和を要因として単価は懸念されます。秋まき小麦は平年並みで推移しています。玉ねぎは、規格内率が平年を上回ったが、大玉が少なく収量は平年より低い見通しで、価格も軟調です。

前期に続いて花卉栽培では、イベント中止等による需要が大幅に落込み、先行きはやや不安な状況です。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	18.5	0.0	33.3	22.2
前年同期比生産高D・I	11.1	0.0	14.8	-
収益D・I	3.7	△11.1	0.0	-

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・ コロナの影響により、関東圏への乳牛の個体販売に影響を受けている。
- ・ 契約栽培のため売上は安定している。
- ・ 補助金を申請しているが、承認されれば大分助かる。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 生産者価格の低迷 33.3%	人手不足 51.9%
第2位	生産資材等価格の上昇 29.6%	生産者価格の低迷 37.0%
第3位	経費の増加 機械・設備の老朽化 22.2%	機械・設備の老朽化 33.3%

(複数回答)

特別調査

新型コロナウイルスの感染拡大を受けた 中小企業の対応について

当金庫が今回実施致しました第137回中小企業景気動向調査と併せて（運輸業と農業を除く）172先について「新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について」をアンケート調査した結果です。

問1. 貴社では、売上高がコロナ前の水準に回復する時期を、いつごろと見込んでいますか。1～7の中からお答えください。

- | | | |
|----------------------|-----------|-----------|
| 1 現状でコロナ前に到達・上回っている。 | 4 2022年中 | 6 戻ることはない |
| 2 2020年中 | 5 2023年以降 | 7 わからない |
| 3 2021年中 | | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 現状でコロナ前に到達・上回っている。	17.4%	14.3%	9.1%	10.0%	23.3%	28.6%	15.1%
2 2020年中	4.3%	0.0%	7.3%	16.7%	0.0%	28.6%	7.0%
3 2021年中	30.4%	28.6%	25.5%	23.3%	18.6%	14.3%	23.8%
4 2022年中	13.0%	14.3%	12.7%	6.7%	11.6%	0.0%	11.0%
5 2023年以降	8.7%	0.0%	5.5%	16.7%	14.0%	0.0%	9.3%
6 戻ることはない	0.0%	0.0%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
7 わからない	26.1%	42.9%	32.7%	26.7%	32.6%	28.6%	31.4%

新型コロナウイルスの影響による売上高は、「現状でコロナ前に到達・上回っている。」と回答した事業者は全体のわずか15.1%に過ぎず、一方で下回った事業者は84.9%を占めており、多くの事業者が影響を受けております。売上げ回復時期についての回答は、「わからない」・「2021年中」の順となっており、「わからない」も含めた2021年以降の見通しとした回答は全体の4分の3を超える結果となりました。

問2. 貴社では、テレワークや在宅勤務、リモートワークといった、出社を必要としない就労形態を実施（予定を含む）していますか。実施している方は1～3の中からお答えください。実施していない方はその理由について、最も当てはまるものを4～0の中からお答えください。

- | | | |
|----------------------|---------------|------------------|
| 1 コロナウイルス感染拡大前から実施済み | 4 実施できる業務ではない | 8 ITに知見を持つ人材がない |
| 2 コロナウイルスをきっかけに実施した | 5 実施コストがかかる | 9 従業員がいない（家族経営等） |
| 3 これから実施する予定 | 6 セキュリティ面で不安 | 0 その他（ ） |
| | 7 従業員を管理できない | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
実施した							
1 コロナウイルス感染拡大前から実施済み	4.3%	7.1%	0.0%	3.3%	0.0%	14.3%	2.3%
2 コロナウイルスをきっかけに実施した	8.7%	7.1%	5.5%	10.0%	14.0%	28.6%	9.9%
3 これから実施する予定	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.6%
実施していない							
4 実施できる業務ではない	78.3%	71.4%	81.8%	73.3%	81.4%	14.3%	76.2%
5 実施コストがかかる	8.7%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	14.3%	2.3%
6 セキュリティ面で不安	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 従業員を管理できない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	14.3%	1.2%
8 ITに知見を持つ人材がない	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
9 従業員がいない（家族経営等）	0.0%	7.1%	9.1%	10.0%	2.3%	14.3%	6.4%
0 その他（ ）	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%

新型コロナウイルス感染拡大による就労形態への対応は、「感染拡大前から実施済み」と回答した事業先は、わずか2.3%でした。製造・卸売・小売・サービス・建設業では「実施できる業務ではない」と回答した事業者が約8割の結果となりました。一方で「コロナウイルスをきっかけに実施した」と回答した事業先が約1割あり、その中でも不動産業が最も高い結果となりました。

問3. 貴社では、今現在、雇用ならびに1人当たり支給額（給与、手当、賞与等）に関する方針について、どのようにお考え（予定を含む）ですか。正規社員は1～5の中から、非正規社員（パート、アルバイト、派遣社員等）は6～0の中からそれぞれお答えください。

- | 正規社員 | 非正規社員 |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 雇用、支給額とも維持・増加する | 6 雇用、支給額とも維持・増加する |
| 2 雇用は維持・増加するが、支給額を減らす | 7 雇用は維持・増加するが、支給額を減らす |
| 3 雇用を減らし、支給額は維持・増加する | 8 雇用を減らし、支給額は維持・増加する |
| 4 雇用、支給額とも減らす | 9 雇用、支給額とも減らす |
| 5 該当者はいない | 0 該当者はいない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
正規社員							
1 雇用、支給額とも維持・増加する	52.2%	85.7%	49.1%	70.0%	69.8%	85.7%	62.8%
2 雇用は維持・増加するが、支給額を減らす	13.0%	0.0%	12.7%	10.0%	11.6%	0.0%	10.5%
3 雇用を減らし、支給額は維持・増加する	8.7%	0.0%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
4 雇用、支給額とも減らす	4.3%	0.0%	0.0%	3.3%	2.3%	0.0%	1.7%
5 該当者はいない	21.7%	14.3%	32.7%	16.7%	16.3%	14.3%	22.1%
非正規社員							
6 雇用、支給額とも維持・増加する	30.4%	57.1%	34.5%	26.7%	41.9%	42.9%	36.6%
7 雇用は維持・増加するが、支給額を減らす	4.3%	0.0%	7.3%	6.7%	4.7%	0.0%	5.2%
8 雇用を減らし、支給額は維持・増加する	8.7%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
9 雇用、支給額とも減らす	4.3%	0.0%	1.8%	3.3%	2.3%	14.3%	2.9%
0 該当者はいない	52.2%	42.9%	52.7%	63.3%	51.2%	42.9%	52.9%

新型コロナウイルスの影響による雇用・支給額に関する見通しについては、正規社員では「雇用、支給額とも維持・増加する。」・「該当者はいない」の順に回答した事業者が最も多い結果となり、他の項目に対しては少数回答にとどまりました。非正規社員では「該当者はいない」・「雇用、支給額とも維持・増加する。」の順となりました。

問4. 貴社では、今現在、今後の事業の見直しについて、実施・検討していることはありますか。実施・検討している方は、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 調達先・調達方法(多様化・分散など) | 6 生産・販売拠点の見直し |
| 2 勤務時間、勤務方法 | 7 事業全体(事業転換など) |
| 3 職場環境(3密防止など) | 8 事業譲渡・廃業 |
| 4 委託先・外注先選定の見直し | 9 その他() |
| 5 事業継続計画(BCP)の整備・見直し | 0 実施・検討していない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 調達先・調達方法(多様化・分散など)	9.1%	10.5%	16.0%	10.5%	12.7%	0.0%	12.1%
2 勤務時間、勤務方法	27.3%	26.3%	18.7%	23.7%	9.1%	33.4%	20.3%
3 職場環境(3密防止など)	27.3%	15.8%	30.7%	31.6%	20.0%	36.4%	26.8%
4 委託先・外注先選定の見直し	6.1%	10.5%	2.7%	0.0%	7.3%	0.0%	4.3%
5 事業継続計画(BCP)の整備・見直し	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
6 生産・販売拠点の見直し	6.1%	10.5%	1.3%	5.3%	1.8%	0.0%	3.5%
7 事業全体(事業転換など)	3.0%	0.0%	1.3%	0.0%	3.6%	0.0%	1.7%
8 事業譲渡・廃業	3.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
9 その他()	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
0 実施・検討していない	18.2%	26.3%	25.3%	28.9%	45.5%	18.2%	29.4%

(複数回答)

新型コロナウイルスの影響による事業の見直しについては、「調達先・調達方法(多様化・分散など)」、「勤務時間、勤務方法」、「職場環境(3密防止など)」の3項目で全体の約6割となる事業先の回答結果となりました。一方で、「実施・検討していない」と回答した事業先は約3割の結果となりました。

問5. 貴社では、今現在、営業拡大の観点で、実施・検討していることはありますか。実施・検討している方は、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 営業方法の模索(オンライン商談など) | 6 既存顧客に対するサポートの徹底 |
| 2 販売チャネルの模索(配達など) | 7 生産・販売拠点の拡充 |
| 3 新しい顧客の開拓 | 8 同業者・外部支援機関等の連携強化 |
| 4 広告宣伝方法の模索(SNS活用など) | 9 その他() |
| 5 新商品・サービスの開発 | 0 実施・検討していない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 営業方法の模索(オンライン商談など)	5.1%	20.0%	7.1%	6.8%	9.1%	36.4%	9.6%
2 販売チャネルの模索(配達など)	5.1%	10.0%	10.0%	0.0%	3.6%	0.0%	5.4%
3 新しい顧客の開拓	20.5%	20.0%	8.6%	22.7%	9.1%	27.3%	15.1%
4 広告宣伝方法の模索(SNS活用など)	5.1%	0.0%	7.1%	6.8%	1.8%	0.0%	4.6%
5 新商品・サービスの開発	10.3%	0.0%	1.4%	2.3%	0.0%	0.0%	2.5%
6 既存顧客に対するサポートの徹底	12.8%	20.0%	27.1%	27.3%	10.9%	9.1%	19.7%
7 生産・販売拠点の拡充	17.9%	0.0%	2.9%	2.3%	3.6%	9.1%	5.4%
8 同業者・外部支援機関等の連携強化	5.1%	15.0%	4.3%	9.1%	12.7%	9.1%	8.4%
9 その他()	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
0 実施・検討していない	17.9%	15.0%	30.0%	22.7%	49.1%	9.1%	28.9%

(複数回答)

新型コロナウイルスの影響による営業拡大策は、「既存顧客に対するサポートの徹底」、「新しい顧客の開拓」、「営業方法の模索(オンライン商談など)」の3項目に対し回答する事業先が最も多い結果となりました。「実施・検討していない」と回答した事業先は約3割となっておりますが、中でも影響の少ないと思われる建設業では5割となっております。

主要経済指標

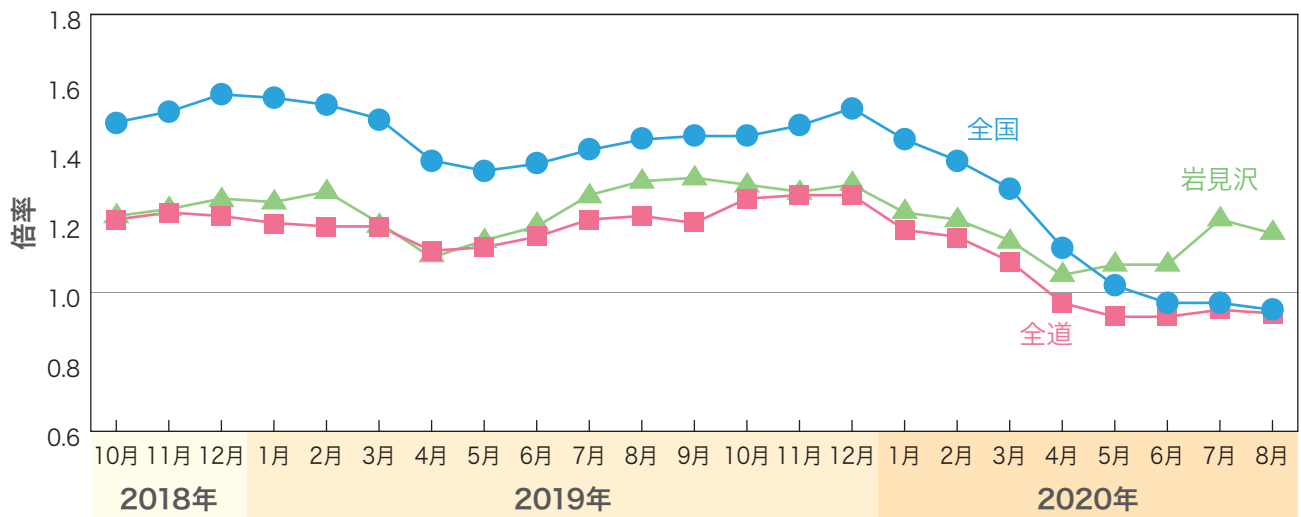
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2019年				2020年							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
岩見沢市	80,753	80,623	80,520	80,435	80,331	80,214	79,814	79,850	79,825	79,741	79,750	79,727
美唄市	21,168	21,134	21,100	21,063	21,001	20,958	20,839	20,797	20,764	20,727	20,706	20,656
三笠市	8,366	8,348	8,318	8,304	8,273	8,275	8,223	8,250	8,234	8,216	8,206	8,200
栗山町	11,684	11,666	11,659	11,637	11,615	11,610	11,555	11,571	11,558	11,543	11,522	11,506
南幌町	7,481	7,476	7,483	7,461	7,455	7,472	7,464	7,469	7,460	7,451	7,448	7,444
由仁町	5,087	5,080	5,069	5,061	5,051	5,036	5,022	5,015	5,000	4,984	4,978	4,966
長沼町	10,709	10,693	10,658	10,647	10,632	10,615	10,576	10,543	10,531	10,533	10,548	10,551
江別市	119,509	119,574	119,559	119,582	119,574	119,622	119,408	119,776	119,778	119,773	119,860	119,824

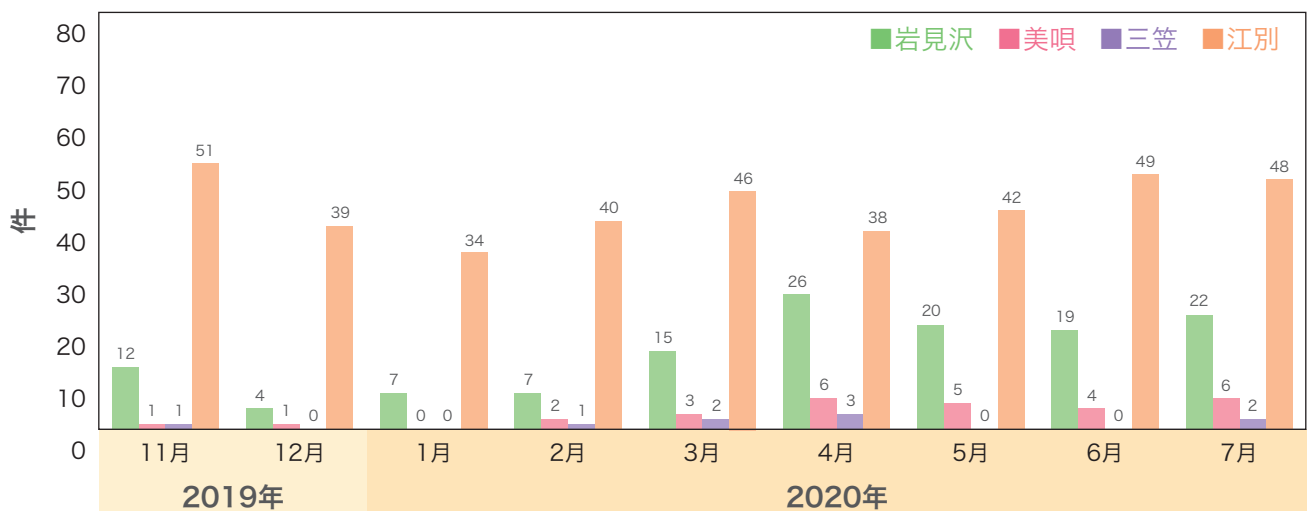
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

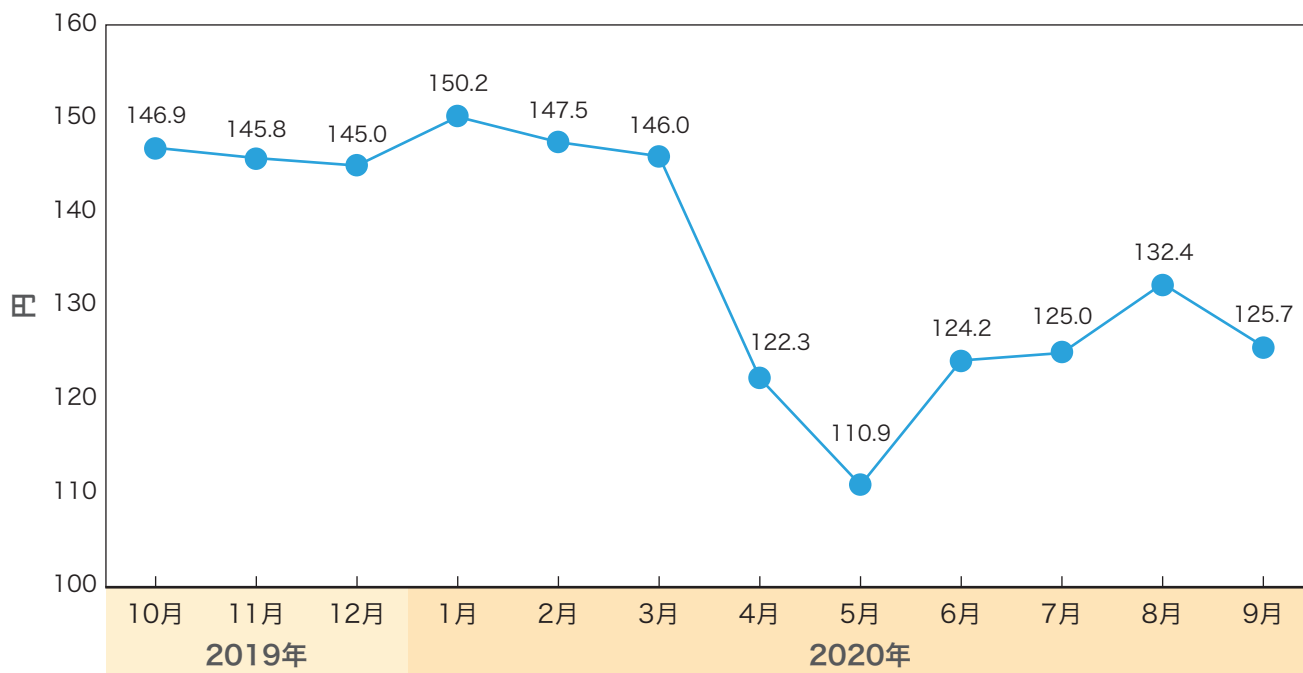


(資料：北海道建設新聞社)

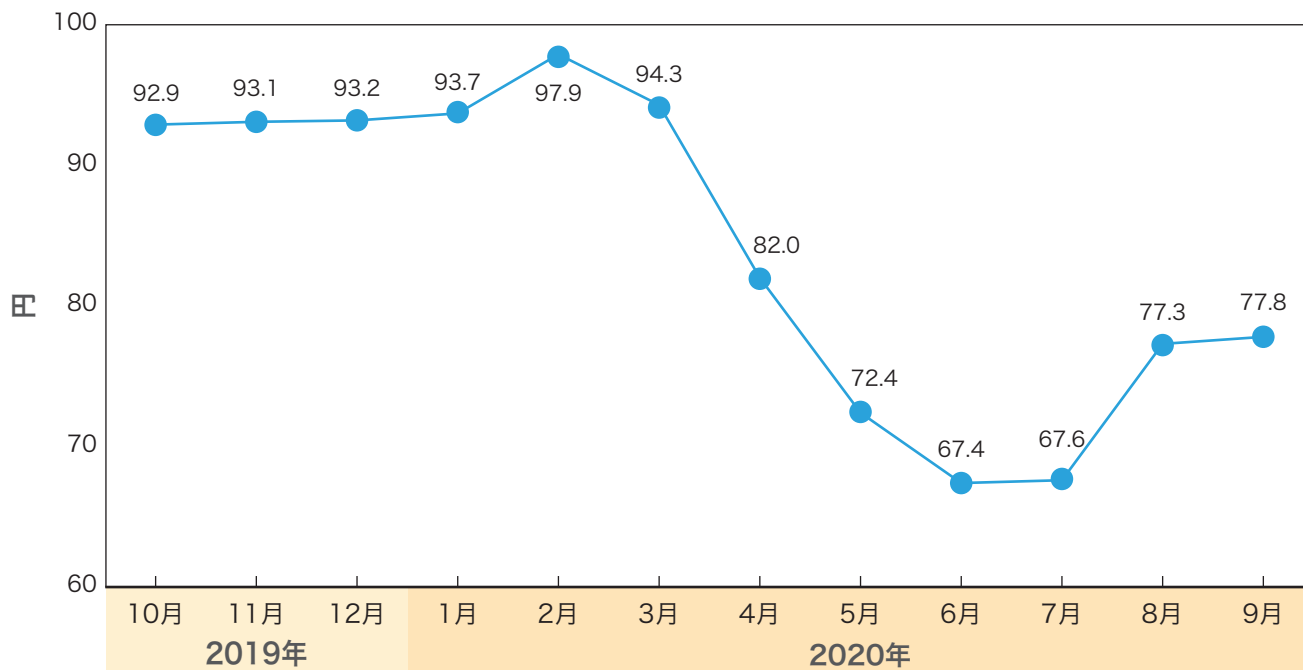
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美幌市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

5信用金庫のお取引先企業のご紹介コーナー

(株)高橋工務店

紹介者：空知信用金庫（担当部：地域支援室 ☎0126-22-1171）

資源に限りがある中、建築物の長寿命化が求められ、新築よりも今あるものを長く使うという方向に社会背景が変化しております。そこで当社では、耐衝撃性、耐久性、防水性、耐薬品性をはじめ、これまでのコーティング剤とは桁違いの強さをもつ「ポリウレタ」を道内建設業で初めて導入をしました。「ポリウレタ」の素晴らしさをもっと多くの人に知っていただき、広めていきたいと思っております。機械のこと、素材のことは是非お気軽にお問い合わせ下さい。



【主要取扱商品】
ポリウレタ樹脂吹付工法

〒060-0004 岩見沢市4条東11丁目4番地2
担当者：柳谷 直樹 様
Tel 0126-22-4313 Fax 0126-22-4321
Hp www.takahashi-k.com/blank-5
E-mail kudo119@sky.plala.or.jp

(有)小井商店「愉酒屋(ゆしゅや)」

紹介者：北海道信用金庫（担当部：しんきん北海道金融センター ☎011-706-1500）

札幌市・清田区にて日本酒と地梅酒を販売しております小さな酒屋です。北海道・全国の酒蔵直送の希少酒や人気酒の他、本格焼酎や蔵元が造る地梅酒、道産ワインを取り扱っております。「きっと日本酒がスキになる。もっと日本酒がスキになる。」を合言葉に、日本酒をまだ飲んだことの無い方、ビギナーの方にもわかりやすい丁寧な商品説明を心がけております。美味しい日本酒と愉快的スタッフが貴方のお越しをお待ちしております。



【主要取扱商品】
蔵元直送希少日本酒・焼酎
リキュール・道産ワイン等酒類

〒004-0832 札幌市清田区真栄2条2丁目4-12
担当者：成田 知世 様
Tel 011-881-2344 Fax 011-881-2342
Hp <http://www.facebook.com/yushuya.jp>
E-mail info@yushuya.jp

和洋菓子のなかむら

紹介者：北海道信用金庫（担当部：しんきん北海道金融センター ☎011-706-1500）

和洋菓子のなかむらは、石狩で営業を始めて48年目となります。大福、串だんご等の和菓子や苺ショートケーキ、チーズケーキ等の洋生菓子を扱う他、両方の技術を活かした和洋折衷のオリジナル菓子も多く販売しております。特に和菓子材料の「葛」を使用した溶けないアイス「くずバー」が人気となりテレビ、ラジオ、雑誌等にも取り上げられ話題になりました。又、原料には地元石狩産や道産のものを使用し積極的に地産地消にも取り組んでおります。



【主要取扱商品】
大福・串だんご・くずバー
洋生菓子・和菓子

〒061-3207 石狩市花川南7条3丁目36番地
担当者：中村 幸治 様
Tel 0133-73-8560 Fax 0133-73-8560
Hp https://peraichi.com/landing_pages/view/nky62
E-mail hamanasu0813@yahoo.co.jp

このコーナーは、空知、北海道、室蘭、苫小牧、旭川の各信用金庫のお取引先企業様を紹介する「誌上ビジネスマッチング」です。是非、皆様の販路拡大やビジネスの連携にお役立て下さい。お問合せは、直接掲載企業様もしくは紹介信用金庫までご連絡下さい。

IL TETTO

紹介者：室蘭信用金庫（担当部：お客様支援部 ☎0143-44-3355）

2019年7月、当店は伊達市グルメ街道沿に、イタリア料理と薪窯焼ピッツァを提供するIL TETTO（イルテット）としてオープンしました。伊達市は山海の幸の宝庫であり、魅力ある食材を使って地産地消の精神でお客様に料理を提供しております。

店名の、IL TETTOはイタリア語で屋根という意味です。屋根の下に人が集まり、にぎやかで活気あるお店がながく続くようにとの思いを込めております。

気のおけない仲間と楽しんだり、大切な人との特別な日に、ご家族揃っての夕食に、是非当店をご利用下さい。

スタッフ一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

〒052-0015 伊達市旭町23番地2
担当者：松岡 克哉 様
Tel 0142-88-9034 Fax 0142-88-9034
Hp <https://date-iltetto.com/>
E-mail iltetto@outlook.jp



【主要取扱商品】

イタリア料理と薪窯焼ピッツァ

(株)丸金 金村商店

紹介者：苫小牧信用金庫（担当部：業務推進部 ☎0144-56-5026）

お陰様で創業85年、日高町富川より新鮮な海の幸を全国の皆様にお届けしております。当社は太平洋日高沖に面しており、海産物加工には最適な環境であります。「品質・信頼」をモットーに、厳選された本物の味、四季折々の旬をお届けします。お祝い、お返し、ご贈答など、ご希望に合わせ詰め合わせも致しますので、お気軽にご相談ください。

〒055-0001 沙流郡日高町富川北2丁目2番1号
担当者：金村 佳嗣 様
Tel 01456-2-0418 Fax 01456-2-0419
Hp <http://hidakamarukin.shop-pro.jp/>
E-mail marukin7@cameo.plala.or.jp



【主要取扱商品】

いくら・ししゃも

繭林写真舎合同会社

紹介者：旭川信用金庫（担当部：地域振興部 ☎0166-26-1175）

弊社代表カメラマン小林は、全国技能士会連合会から優れた技能を有すると全国で唯一女性の全技連写真マイスターに認定。伝統的な表現と最新の表現いずれにも精通して緻密に匠の技を駆使する美しい写真は、国から優れた熟練技能による高付加価値製品であると認定（厚生労働省グッドスキルマーク認定）されており、本認定は全道で4件目、写真分野では全国で唯一の認定です。お客様のこだわりを寄り添い、一緒に想いを形にします。

〒071-1523 上川郡東神楽町ひじり野南1条4丁目8-1
担当者：小林 繭子 様
Tel 0166-83-5785
Hp <https://mayurin.co.jp>
E-mail mk@photo-pros.jp



【主要取扱商品】

匠の技による高付加価値の写真撮影（スタジオ撮影、商用・HP用撮影、行事・イベント等の出張撮影、ブライダル撮影）
ホテル・式場・観光その他施設の写真室の受託、アルバム・リーフレット等の作成

空知信用金庫の取り組み

『地域応援イベントの開催』

南空知地域を広くPRすることを目的とし、令和2年9月19日(土)から22日(火・祝)の4日間、北広島市にある「三井アウトレットパーク 札幌北広島」にて開催された「北海道の絆プロジェクト」の第三弾として「南空知フェア」を開催しました。



2020年3月23日(月)より

 北洋銀行 と  空知信用金庫 が提携し

ATMによる
お引出し の
ご利用手数料が

平日8:45
~18:00

0円

- ※ 当金庫ATMで北洋銀行のキャッシュカードを利用した場合。
- ※ 北洋銀行ATMで当金庫のキャッシュカードを利用した場合。
- ※ 対象は個人のお客様のみとなります。
- ※ 以下の当金庫店外ATMは対象外となります。
(ビッグハウス岩見沢店・JRタワー札幌ステラプレイス)
- ※ 無料時間帯は最長時間を記載しており、各ATMごとに営業時間は異なります。

	8:00	8:45	18:00	21:00
平日	110円	無料	110円	
土・日・祝	110円			

(注) お振込みには当金庫または北洋銀行所定の振込手数料がかかります。

 空知信用金庫



そらちしんきん アグリローン

～地域経済を支える
農業を応援します～

ご利用いただける方	下記の条件を満たす、北海道農業信用基金協会の保証が得られる方 (1) 北海道農業信用基金協会の会員または農業協同組合の組合員であること (2) 農業を営む個人事業主および法人	ご返済方法	(手形貸付) 期日一括返済とします (証書貸付) 元金均等分割返済(年1回、年2回、年4回、毎月返済)とします
お使いみち	農業経営の改善または農家経済の安定に資する運転資金および設備資金(固定化した旧債の借換資金を除く)	利払い方法	先払いとします
ご融資形態	手形貸付および証書貸付	保証機関	北海道農業信用基金協会
ご融資金額	(個人事業主) 10万円以上3,600万円以下、10万円単位とします (法人) 10万円以上7,200万円以下、10万円単位とします	担保	北海道農業信用基金協会の定めによります
ご融資期間	(手形貸付) 1年以内 (証書貸付) 10年以内	保証人	(個人事業主) 原則必要ありません (法人) 代表者の方
ご融資利率	固定金利型とし、当金庫所定の利率を適用させていただきます (別途、北海道農業信用基金協会所定の保証料がかかります)	手数料	返済条件を変更する場合、当金庫所定の手数料がかかります
		その他	・審査の結果によっては、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください ・ご返済額の試算につきましては、店頭へお問い合わせ下さい ・店頭に説明書をご用意しております

住宅ローン 特別金利

令和2年10月1日(水)～令和3年3月31日(水)
※募集総額が20億円に達し次第、募集を終了させていただきます。

お借入時年齢が50歳未満の方対象

充実した保障が **全国信保料**
すべて **金利上乗せなし 0円**

※保険会社の判断により加入できない場合があります。(保険料は当金庫が負担)

変動金利型 新規受付利率

年 0.65%
～年 0.75%

固定金利期間選択型 新規受付利率

固定金利特約期間 **10年**

年 0.80%
～年 0.90%

詳しくは、空知信用金庫本支店またはホームページをご覧ください。

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



店舗・ATMのご案内

店 舗						ATMご利用時間		
						●平日	●土曜日	●土・日・祝日
岩見沢市内店	本 店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45~19:00	9:00~17:00		
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00~18:00	-		
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00~18:00	-		
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00~18:00	-		
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00~18:00	9:00~17:00		
南空知管内	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00~18:00	9:00~17:00		
	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00~18:00	9:00~17:00		
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00~18:00	9:00~17:00		
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00~18:00	9:00~17:00		
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00~18:00	-		
札幌市・江別市内	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00~18:00	-		
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00~18:00	9:00~17:00		
	札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 011-271-3421	9:00~18:00	-		
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00~18:00	-		
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00~18:00	-		
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00~18:00	-		
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00~18:00	-		
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00~18:00	-		
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00~18:00	-		
	札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00~18:00	-		
江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00~18:00	9:00~17:00			

店舗外ATMコーナー

				ご利用時間	
				●平日	●土・日・祝日
岩見沢市	J R 岩見沢 駅 (共同ATM)	岩見沢市有明町南		9:00~21:00	9:00~21:00
	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目		9:00~21:00	9:00~21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目		9:00~19:00	9:00~17:00
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号		9:00~17:00	-
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目		9:00~17:00	-
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目		9:00~17:00	-
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目		9:00~17:30	-
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川593番地の1		9:00~16:00	-
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目		9:00~17:00	-
三笠市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1		9:00~19:00	9:00~17:00
札幌市	JRタワー札幌ステラプレイス (共同ATM)	札幌市中央区北5条西2丁目		8:00~21:00	9:00~18:00



第137回地域企業景気動向調査
景況レポート 2020.10
発行 2020年10月31日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1
空知信用金庫 地域支援室
TEL 0126-22-1171
<http://www.shinkin.co.jp/sorachi/>